

2015年4月6日

ソウル高等法院が三菱化学の赤色蛍光体特許に関して  
米国 Intematix 社等の権利侵害を認める

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社(本社:東京都千代田区、社長:石塚 博昭、以下「当社」)は、米国の Intematix 社およびその韓国での販売代理店である株式会社 GVP に対して提起していた韓国での特許侵害訴訟の控訴審において、2015年4月2日、第1審に続き勝訴しましたのでお知らせいたします。

当社は2011年12月20日付で Intematix 社および GVP 社に対して、国立研究開発法人物質・材料研究機構(4月1日付で独立行政法人物質・材料研究機構より名称変更)と当社とが共有する赤色蛍光体に関する特許(大韓民国特許第816693号(注1)、以下「本特許」)を侵害しているとして、蛍光体製品の韓国への輸入および販売差止めを求める訴訟を韓国のソウル中央地方法院に提起し、2013年2月5日付で当社の主張が認められる判決が下されていました。Intematix 社はこの判決を不服としてソウル高等法院に控訴していましたが、今回原判決が支持され、当社の主張が改めて認められたものです。また、ソウル高等法院はあわせて仮執行も宣言しました。

本特許は、通称 CASN、SCASN(別名 1113 蛍光体)(注2)と呼ばれる窒化物系の赤色蛍光体およびそれを用いた LED、照明器具、LCD バックライト等を広くカバーする基本特許です。CASN および SCASN 蛍光体は、高い輝度と信頼性から LED 用として最も広く使用されている赤色蛍光体であり、当社が製造販売している当該赤色蛍光体は、LED メーカー各社の皆様より多くの支持、評価を頂いています。

本特許については、Intematix 社が2012年9月7日付で本特許の無効を主張する無効審判を請求していましたが、最終的に2015年1月15日付にて韓国大法院において本特許が有効であることが確認されています。

なお、本特許と同様の特許は韓国のみならず、米国、日本、台湾及び中国においても登録されています。また当社は中国において、かかる特許を侵害しているとして Intematix 社および煙台希爾德新材料有限公司(英語名:Yantai Shield Advanced Materials Co.,Ltd.)に対し、特許侵害訴訟を提起しております。

当社は、今後も他社が当社特許を侵害する製品を実施するようなことがあれば、これを看過することなく、適正な対応を取る所存です。

(注1)

当社は、CASN および SCASN 蛍光体に関し、本件特許以外にも多数の関連特許を保有しております。

(注2)

CASN、SCASN(別名 1113 蛍光体) :  $\text{CaAlSiN}_3\cdot\text{Eu}$  等を基本組成とする蛍光体

以上

本件に関するお問合せ先 (株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 電話:03-6748-7140
--